

事業名称		達成状況の評価
事業名	防災・安全交付金(道路)	A
整理番号	24-6	目標を完全に達成した。(達成割合100%)
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備	
市町村名	佐久穂町	
箇所名	海瀬	
事業年度	平成23年度～令和3年度事業	
		配慮した項目 28 = 100%
		配慮する全項目 28
事業概要		
目的	千曲川右岸の広域的な幹線道路ネットワークを構築するため、バイパスを整備し統合小中学校の通学路としても安全な交通環境を形成する。	
事業概要	道路改築工 延長L=1600m 道路幅員W=10.75m 車道幅員W=6.00m	
関連する事業計画	小中学校の統合事業	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	なし	
その他	なし	
自然的環境要素	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)
大気環境	<b>【大気汚染の防止】</b>	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	適正に実地
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	適正に実地
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	適正に実地
	<b>【騒音、振動の防止】</b>	
	・著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。	適正に実地
・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	適正に実地	
水環境	<b>【水質汚濁の防止】</b>	
	・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	適正に実地
	・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。	適正に実地
	<b>【水循環の保全】</b>	
	・水田や地下水・湧水を保全する。	適正に実地
	・地下水を使用しない又は使用量を削減する。	適正に実地
地形・地質	<b>【改変面積の最小化】</b>	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	適正に実地
	・工事により裸地化する箇所は早期の緑化・植栽を行う。	適正に実地
	・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	適正に実地
	・工事により一時的に改変する自然環境の原形復旧に努める。	適正に実地
	・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。	適正に実地
野生動植物	<b>【地域独自の生物多様性の保全】</b>	
	・表土を植生用客土として活用し、在来種による植栽・緑化を行う。	適正に実施
景観	<b>【すぐれた景観の保全】</b>	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	適正に実施
	<b>【良好な景観の育成】</b>	
	・周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。	適正に実施
自然とのふれあい	<b>【自然とのふれあい空間の創出】</b>	
	・河川、水路などの暗渠化は避けるよう努める。	適正に実施

文化財等	【文化財等への配慮】	
	・原則として史跡・名勝・天然記念物の指定地内への立地は避ける。また、史跡等の周辺や埋蔵文化財を包蔵する可能性の高い土地への立地を出来るだけ避ける。	適正に実施
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	適正に実施
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	適正に実施
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	適正に実施
	【資源の有効利用】	
・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	適正に実施	
・信州リサイクル認定製品の利用を推進する。	適正に実施	
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	適正に実施
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	適正に実施
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	適正に実施
日照障害・電波障害・光害	【日照障害への配慮】	
	・日照障害が生じないように施設の配置や構造、形状等に配慮する。	適正に実施